

The 12th IAGG Master Class on Ageing in Asia に参加して

浅田 侑樹

(日老医誌 2024 ; 61 : 495-496)

2024年5月22日より24日まで東京で開催されたThe 12th IAGG Master Class on Ageing in Asiaに参加しました。まずはこのような機会を与えて下さったIAGG, 日本老年医学会, 運営関係者の皆様, 大学医局の先生方に感謝申し上げます。

私は医師7年目で2023年4月より大阪大学老年総合内科学にて老年科専攻医として高齢者診療をしております。英語は苦手ながら老年医学の勉強がしたい, 海外の老年科の先生と交流がしたい想いで今回のIAGGに応募し参加することが叶いました。

開催場に辿り着くのに苦労しましたが, 1日目のPin先生の転倒に関するパワフルな講義を聞いて苦労のことなどすぐに忘れてしまいました。その後神崎先生, 秋下先生の講義についてもレカネマブや病院内でのポリファーマシーに対する取り組みの話を知りました。その後, グループ毎に分かれて症例検討があり多くの質問が出て他国の高齢者診療の様子や日本との違いを知ることができました。夕食は初めて会った人と話をしたり, 東先生の演奏でテンションがとても上がりました!

2日目はPeng先生のサルコペニア, 山本先生のせん妄を聞いた後, ポスター発表がありました。英語のプレゼンテーションをしたことが初めてだったのでとても緊張しましたが優しい先生方の質問で新しい気づきや自分が思いつかなかった視点を発見することができ, 今後の研究につなげていきたいと思いました。1日中, 濃密な老年医学の勉強をした後, グループ毎に懇親会がありたくさんの方とお話をしたり, チューターのChen先生と日本酒や焼酎を飲みながら熱い会話ができて本当に良かったです。

3日目は各グループの症例提示, 優秀者の研究発表を聞いた後, 写真撮影と素敵な修了証を受け取りIAGG



マスタークラスは終了しました。

今回のIAGGを通してアジアの老年科の先生の情熱と臨床・研究に対する思いの強さを実感することができ, 参加できて本当に良かったです。またいつかどこかで今回出会った先生と会ってお話ができれば幸いです。そしてこれからも多くの老年科の先生と交流し老年医学に貢献できるよう精進して参ります。

最後に今回の IAGG マスタークラスにおいて司会進行および講義をして下さり、私が直接お声をかけた際に優しく教えて頂いた荒井先生、IAGG 参加にあたりメー

ルで対応頂いた松井様にこの場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。